

2014年7月23日

エフセキュア、「クライアントセキュリティ」と FFRIのFFR yaraiの共存動作検証を完了

エフセキュア株式会社(本社：東京都港区、カンントリーマネージャ：アリエン ヴァン ブロックランド、以下 エフセキュア)は、株式会社 FFRI (本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 鶴飼裕司、以下 FFRI) と共同で検証作業を実施し、法人向けセキュリティソリューション「エフセキュア クライアント セキュリティ」および「エフセキュア Windows サーバ セキュリティ」が、FFRIの標的型攻撃対策ソリューション「FFR yarai」と共存動作が可能であることを確認いたしました。

昨今、特定の組織や企業にターゲットを当てた標的型攻撃が激化しており、組織の規模の大小に関わらず、その対策が急務となっています。

このたびの共存動作検証により、エフセキュアのクライアント向けおよび Windows サーバ向けのセキュリティ・ソリューション「エフセキュア クライアント セキュリティ」と「エフセキュア Windows サーバ セキュリティ」が、FFRIの標的型攻撃対策ソリューション「FFR yarai」と組み合わせて利用いただけることが確認されました。標的型攻撃で悪用される未知のウイルスや、ゼロデイ攻撃に対して、異なる検査ロジックを持つエフセキュアの「ディープガード」と「FFR yarai」のエンジンで多層的な防御が可能になり、標的型攻撃に対する対策能力が大きく上昇します。

「エフセキュア クライアント セキュリティ」と「エフセキュア Windows サーバ セキュリティ」は、第三者評価機関の「AV Test Best Protection Award」を3年連続受賞した高い検知率を誇るウイルス対策ソフトウェアです。これらはPCやサーバのリソースを最小限に抑えて、未知のウイルス対策を行うことを可能にします。またエフセキュア独自のソフトウェア・アップデートの機能を利用することで、OSおよびアプリケーションのセキュリティ・パッチを常に最新に保ち、より強固なセキュリティを維持することができます。

なおエフセキュアは、8月1日(金) 14:00に予定されているFFRI主催のセミナー「レガシーOSを狙った標的型攻撃は多層防御で守る」に共催し、仮想環境でのセキュリティ対策の課題とそのソリューションを紹介いたします。

セミナー詳細：

http://www.ffri.jp/seminar_all/houseSeminar_20140801.htm

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名はF-Secure Corporationの登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<http://www.f-secure.co.jp/>

F-Secure – Switch on freedom

エフセキュアは、オンラインセキュリティおよびプライバシー保護を提供するフィンランドの企業です。弊社は、世界中の何百万人もの人々が、監視されることなくインターネットを楽しみ、さまざまなデータを保存や共有する力と、オンラインの脅威からの安全性を提供します。弊社の存在意義は「デジタルフリーダム」のために闘うことです。この動きに参加し、自由のために闘いましょう。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2009年5月に日本法人設立満10周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ: アリエン・ヴァン・ブロックランド
所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
設立: 1999年5月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社

マーケティング部

Tel: 03-5545-8942 Fax: 03-5545-8945

Email: japan@f-secure.co.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F

URL: <http://www.f-secure.co.jp/>

Blog: <http://blog.f-secure.jp/>